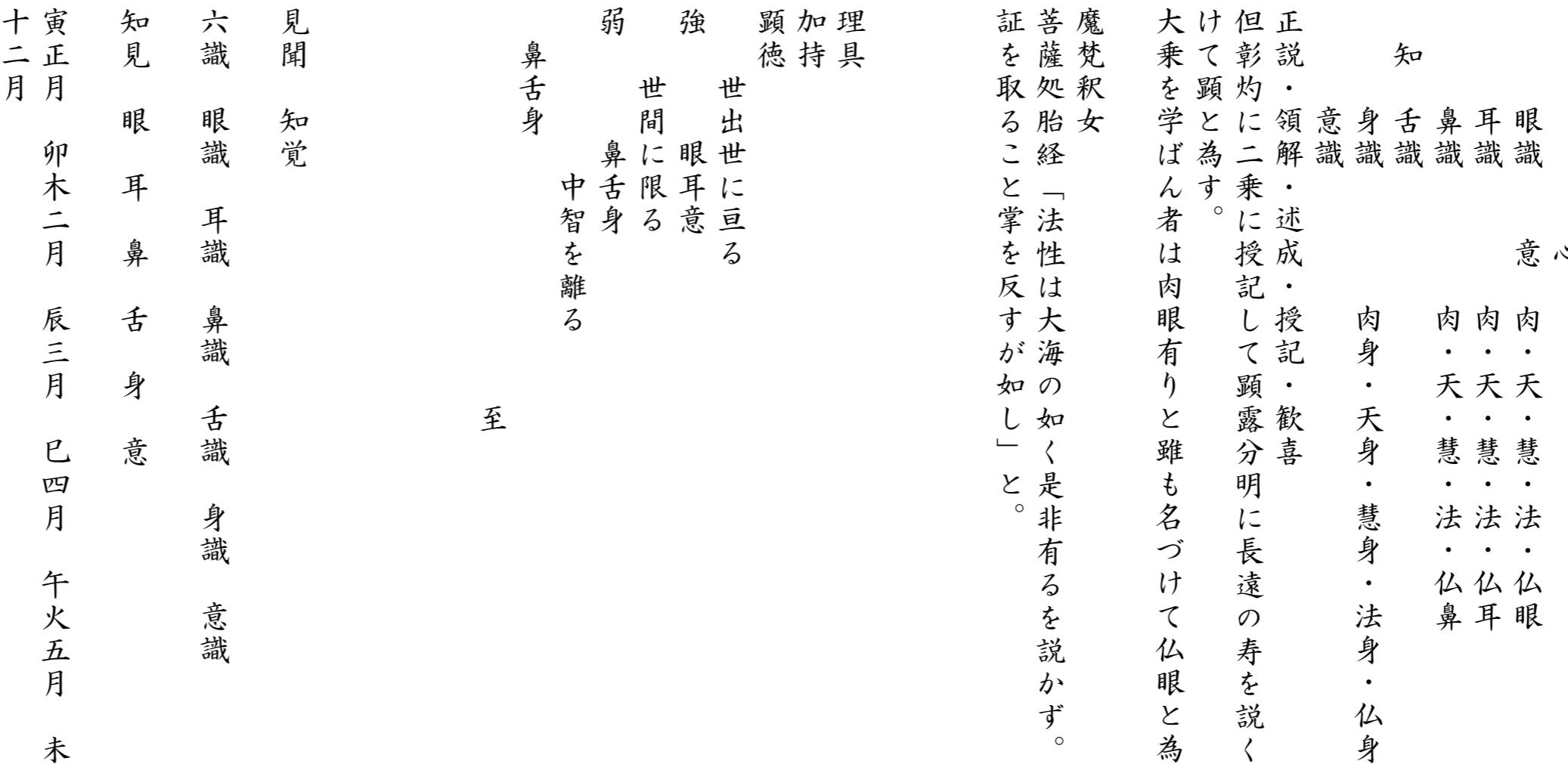


六識事

文永期

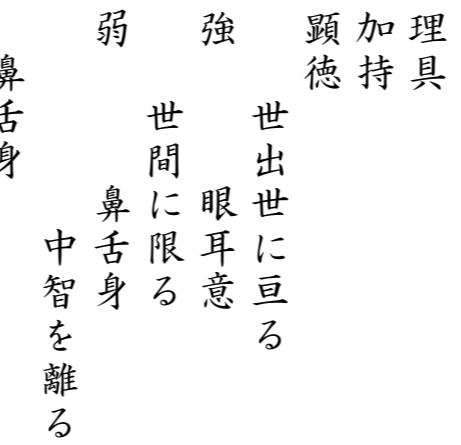


見

正説・領解・述成・授記・歡喜
但彰灼に二乗に授記して顕露分明に長遠の寿を説くことを知る。茲の一乘に於て聞知せざること無し。故に名づけて顕と為す。

大乗を学ばん者は肉眼有りと雖も名づけて仏眼と為す。耳鼻の五根例して亦是くの如し。

魔梵釈女
菩薩処胎経「法性は大海の如く是非有るを説かず。凡夫賢聖の人は唯心垢の滅する在り。平等にして高下無く、証を取ること掌を反すが如し」と。



至

眼耳意

中智に合す

不至

見聞 知覚

六識 眼識 耳識 鼻識 舌識 身識 意識

知見 眼 耳 鼻 舌 身 意

寅正月 卯木二月 辰三月 巳四月 午火五月 未六月 申七月 酉金八月 戌九月 亥十月 子水十一月 丑